

研究・調査報告書

| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
|--|--------|-------------------|
| A-33C | 12-010 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学 |
| 題名 (原題/訳) | | |
| Cigarette smoking, alcohol intake, and thyroid cancer risk: a pooled analysis of five prospective studies in the United States. 喫煙、飲酒と甲状腺がんのリスク：米国における追跡研究の統合解析 | | |
| 執筆者 | | |
| Kitahara CM, Linet MS, Beane Freeman LE, Check DP, Church TR, Park Y, Purdue MP, Schairer C, Berrington de González A. | | |
| 掲載誌 | | |
| Cancer Causes Control. 2012 Oct;23(10):1615-24. | | |
| キーワード | | |
| 甲状腺腫瘍、喫煙、飲酒、追跡研究、疫学 | | |
| 要 旨 | | |
| <p>目的: 米国における 5 つの追跡研究の統合解析により、喫煙、飲酒と甲状腺がんのリスクとの関連を検討した。</p> <p>方法: 米国における 5 つの追跡研究のデータを、標準化の後、一つのデータセットに統合した(男性 384,433 名 および女性 361,664 名)。喫煙・飲酒で相互に調整し、さらに性・年齢・教育歴・人種・婚姻状況・body mass index・コホートにより調整を行い、甲状腺がんに対する統合ハザード比 (HR) と 95 % 信頼区間 (CI) を算出した。</p> <p>結果: 追跡中に 1,003 例の甲状腺がんが発生した(男性 335 例、女性 668 例)。非喫煙者と比べ、現在喫煙者は低い甲状腺がんのリスクを示した(HR = 0.68, 95 % CI 0.55-0.85)。この関連は、非飲酒者でやや強かった(HR = 0.46, 95 % CI 0.29-0.74)。禁煙者のリスクは非喫煙者に比べ低くはなかった。禁煙者・現在喫煙者において、喫煙強度・喫煙期間・喫煙指数の増大は甲状腺がんの低リスクと関連していた。飲酒量は甲状腺がんのリスクと負に関連していた(≥ 7 飲酒単位/週 vs 非飲酒, HR = 0.72, 95 % CI 0.58-0.90, p trend = 0.002)。喫煙・飲酒との負の関連は、乳頭がんにおいて濾胞がん比べ、より明瞭であった。</p> <p>結論: 本統合解析の結果から、喫煙と飲酒はいずれも甲状腺乳頭がん、および、おそらくは濾胞がんの低リスクと関連していることが示唆された。</p> | | |